

歯科材料 5 歯科用接着充填材料  
管理医療機器 歯科合着用グラスポリアルケノエート系レジンセメント  
JMDNコード：70841002

## ビトレマー™ ルーティング セメント

### 【禁忌・禁止】

1. 本材及びアクリレート類に対して、発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
2. 過硫酸塩に過敏な患者には使用しないこと。また、同様に過硫酸塩に過敏な術者は使用しないこと。(アレルギー性の呼吸器症状を起こす可能性がある。)

### 【形状・構造及び原理等】

#### 1. 形状及び寸法

##### 1) 主材

主材は16g入りの粉末と9ml入りの液から構成され、粉末と液とを練板紙に取り出し、練和して使用する。アルミニウム厚さ1mm相当以上のX線造影性を有する。

構成成分	性状	組成
粉末	粉末	フルオロアルミノシリケートガラス、過硫酸塩、着色材、その他
液	液	ポリカルボン酸、水、HEMA、その他

##### 2) 付属品

構成成分	組成
練板紙	紙
計量スプーン	プラスチック

当該製品は、組み合わせにより同梱されない製品がある。同梱されている製品のリストについては直接の容器・被包に記載されている。

#### 2. 原理

本材はグラスアイオノマーの酸-塩基反応とメタクリレートによる化学重合反応により硬化する。本材はJIS T 6609-2：2014 歯科用ウォーターベースセメント-第2部：レジン添加型セメント、タイプ1の以下の規格を満たす。

項目	仕様
被膜厚さ (μm)	25 以下
操作時間 (分)	1.5 以上
硬化時間 (分)	8 以下
曲げ強さ (MPa)	10 以上
X線造影性	同じ厚さのアルミニウムのX線造影性以上

### 【使用目的又は効果】

歯科用合着セメントとして使用する。

### 【使用方法等】

#### 1. 仮封材の除去

仮封材を除去し、通法により水洗乾燥する。

##### 《使用方法等に関連する使用上の注意》

- 1) ユージノールを含まない仮封材、仮着材を使用すること。
- 2) 仮封材、仮着材はしっかりと取り去ること。取り残しがあると接着力が低下する。
- 3) 過酸化水素水（オキシドール）や次亜塩素酸ソーダ（歯科用アンチホルミン）などの酸化剤はセメントの硬化を妨げるので、合着前には使用しないこと。

#### 2. 歯髄保護

歯髄に近接した症例には、歯髄の保護のために水酸化カルシウ

ム製剤等を使用する。

#### 3. 鋳造体の準備

メタルクラウン、インレー、アンレーの接着面をきれいに清掃する。

#### 4. 粉末と液の計量

標準粉液比は1.6対1（重量比）。

大小スプーン（大は小の2倍量）が用意されている。量の目安はインレー1個には小（赤）スプーンを使い、粉1杯に液は1滴とする。またクラウンでは大（白）スプーンを使い、粉1杯に液2滴とする。

粉末の計量前に瓶を振って粉末をふわふわさせてから、スプーンで粉末を取り、プラスチックのスリ切り棒にあてがいがり引いて、計量する。液の計量はボトルを逆さにし、気泡を抜いてからノズルを練板紙から離して垂直に液を滴下する。

##### 《使用方法等に関連する使用上の注意》

- 1) 粉末は湿度に敏感なので、使用後は直ちにキャップをしっかりと閉めること。
- 2) 粉末は湿度の影響を受けて、硬化時間が遅くなる傾向があるので、開封後は早めに使用すること。
- 3) 粉末に重合開始剤が含まれているため、粉末が少ないと硬化は遅くなる。
- 4) 本材の粉末または液の代わりに、ビトレマー™ R 充填用グラスアイオノマーやビトラボンド™ 光重合グラスアイオノマー裏装材の粉末、液などを混ぜて使わないこと。
5. 練和  
プラスチック製スパチュラで練和する場合、速やかに液をのぼして広げ、その上に粉末を持ってくるようにして強く練和する。操作余裕時間を最大限にするため、練板紙上の狭い範囲で練和し、水分の蒸発を少なくする。力強く押しつけるようにして30秒以内で均一に練り上げるようにする。

##### 《使用方法等に関連する使用上の注意》

金属製スパチュラでの練和は練和性が高いので、操作余裕時間、硬化時間が短くなる

#### 6. 操作余裕時間

室温23℃で練和開始から2分30秒。（標準粉液比の場合）  
次の場合は操作余裕時間が短くなる。

- 1) 室温が高い場合
- 2) 粉末を多目にした場合

##### 《使用方法等に関連する使用上の注意》

操作余裕時間を長くしたい場合には、液のボトルを冷蔵庫で冷やすこと。

#### 7. 補綴物の装着

補綴物の内面に万遍なくセメントを広げるようにして填入し、補綴物をセットする。硬化まで定位置を保つために、補綴物に圧力をかけたままにしておく。

#### 8. 余剰部の清掃

口腔内（37℃）にセットしてから3分以上経過して、余剰セメントがワックス状になったことを探針等で確認してから除去する。

##### 《使用方法等に関連する使用上の注意》

- 1) 余剰セメントの除去が容易ではあるが、内部は酸素が遮断され、温度も高いので未硬化の心配はない。
- 2) 練板紙に残ったセメント泥は、酸素に触れており、温度も口腔内より低いので、硬化が非常に遅くなる。
- 3) セット後に、噛みしめを繰り返すと、硬化途中のセメントが破壊されて、脱落の原因となる。そのままの力で噛んで

いてもらうこと。

- 4) 合着後、既製メタルポストおよび鋳造コアを切削する場合は、セット後 10 分間待つこと。
- 5) ポーセレンインレー・アンレーおよびレジンインレー・アンレーの合着に使用すると、セメントが白色のため審美的に問題があり推奨しない。また、セット後にわずかにセメントが膨張するため、ジャケットクラウンの破折の危険がある。メタルによる裏打ちのないポーセレンジャケットクラウンおよびレジンジャケットクラウンの場合も同様に推奨しない。

#### 【使用上の注意】

##### 1. 重要な基本的注意

- 1) 本材に含まれる成分により、皮膚アレルギー反応が生じることがある。口腔内軟組織に液が長時間触れた場合は、大量の流水で洗い流すこと。アレルギー反応が生じた場合、必要に応じて専門医の診察を受けさせ、本材を除去し、その後の本材の使用を中止すること。  
術者においては、アレルギー反応のリスクを減少させるために、保護手袋を使用し接触を最小限にすること。特に、未重合の液への接触を避けること。万一液が皮膚に付着した場合にはせっけんと流水で洗い流すこと。一般的に使用されている手袋はアクリレート類を浸透するため、液が手袋に付着した場合は手袋を捨て、すぐにせっけんと流水で手を洗い、その後新しい手袋をすること。万一アレルギー反応が生じた場合は、必要に応じて専門医の診察を受けること。
- 2) 生活歯の場合、歯面を乾燥しすぎると、患者によっては術後の知覚過敏を起こすことがある。
- 3) 本材は約 21～24℃で使われるように設計されている。

#### 【保管方法及び有効期間等】

##### 1. 保管方法

- 1) 10～27℃
- 2) 本材を高温多湿または直射日光にさらさないこと。27℃以上の高温に長く保管すると、粉末に配合されている重合開始剤が劣化して、硬化が遅くなる。
- 3) ユージノール系製品と同じ場所には保管しないこと。

##### 2. 有効期間

包装に記載 [自己認証 (製造元データによる)]

#### \*\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

##### \* 製造販売業者

- \* 名称：スリーエム ジャパン イノベーション株式会社  
住所：東京都品川区北品川 6-7-29
- \*\* TEL：0120-332-329 (カスタマーコールセンター)

##### 外国製造所の国名及び製造業者の名称

- \*\* 米国、スリーエム ヘルスケア ユーエス オプコ エルエルシー  
(3M Healthcare US Opco LLC)

ビトレマー、ビトラボンドは、3M 社の商標です。